

個別施策

D4-1 自然環境の保全を図ります

D4-2 自然とふれあう場と機会を創出します

ア 施策の目的

市民・事業者・行政等、すべての主体が、自然と共生する社会の実現へ向け取り組んでいる

イ 基本施策の評価

B d 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
森林整備面積 (植林、枝打ち、 間伐等)[累計]	2,093ha (26年度)	↑	目標値	2,493	2,693	2,893	3,093	3,293	3,493
			実績値	2,505	2,773	3,022	3,260	3,602	3,906
			達成率	100.5%	103.0%	104.5%	105.4%	109.4%	111.8%
ホテル飛翔定点 確認箇所数	80箇所 (26年度)	↑	目標値	82	81	81	81	81	81
			実績値	80	78	78	79	77	77
			達成率	97.6%	96.3%	96.3%	97.5%	95.1%	95.1%

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

(1) 成果指標の森林の整備面積について、管理をされていない森林の整備をいかに進めていくかが重要だと思うが、この指標では、本当は管理をしないといけないところがあるけれどもできなかったから今までやっているところをもう少し進めていこうというやり方もできてしまうので、適切な指標を検討すべき。

カ 審議会における施策推進に向けた提案

(1) 間伐材を利用した木製品等を製作し、学校図書館など公共施設等への提供する際には、提供するだけで終わるのではなく、子どもたちが、間伐材を活用する目的や効果等を理解できるよう、説明や講座などを行っていただきたい。